

■ 一般目標 (GIO)

本講義では、心理学の様々な領域について概観し、人の心の基本的な仕組み及び働きに対する理解を深めていく。具体的には、人の発達と個性、学習による行動形成、欲求と情動、対人関係の心理などを学び、患者に対する理解と医療人としての自己理解を深めていくことを目的とする。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 本講義を受講することで、人の心の基本的な仕組み及び働きについて理解する。
- ・ 生物心理社会モデルについて説明ができる。
- ・ 心理学で得られた知見に基づいて、日常生活で観察される人の心や行動について考察することができる。

■ 教科書：指定しない

■ 参考書：藤田主一 他編著 『新 医療と看護のための心理学』 福村出版

■ 授業時間：水曜日 1) 13:00 ~ 13:50 2) 14:00 ~ 14:50

■ オフィスアワー：水曜日 15:00 ~ 16:00 (連絡先は授業内で提示する)

■ 授業の方法：スライドを用いて講義を行う。一部デモンストレーションとして心理テストを行う。また、授業内容に対する理解を深めるために、レポート課題を課す。

■ 準備学習・ 講義ごとに確認シートの配布を行う。次回授業までに、穴埋準備学習時間：めをするとともに、講義内容を復習しておくこと。

■ 成績評価方法：定期試験(70%)およびレポート2回(各15%)により評価する。

■ 注意事項：特になし。

■ 実務経験：鎌田哲司：公認心理師の資格を持つ。病院併設のデイケアにて心理的支援を行っている。臨床現場での実践経験から、心理学の基礎的な知識がどのように活用されるか、臨床現場で有用となる事項(心理的支援、多職種連携など)について紹介していく。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 10月2日 1) 鎌田 哲司	I. Introduction 1)心理学の誕生 2)心理学とは	・ 患者の理解に求められる心理学とはどういったものか、特に目的、対象、研究方法、研究領域について理解する。
第2回 10月2日 2) 鎌田 哲司	II. 発達 1)発達とは何か 2)発達の原理	・ 発達の視点から患者を理解する意義を学ぶ。 ・ 発達の原理について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第3回 10月9日 1) 鎌田 哲司	II. 発達 3) 知的発達①	<ul style="list-style-type: none"> • 患者の考え方を理解する上で有用であるピアジェ理論を学ぶ。 • ピアジェの発達段階それぞれの知的特徴を理解する。
第4回 10月9日 2) 鎌田 哲司	II. 発達 3) 知的発達②	<ul style="list-style-type: none"> • 成人期、および老年期の知的特徴を理解する。
第5回 10月16日 1) 鎌田 哲司	II. 発達 4) 心理社会的発達①	<ul style="list-style-type: none"> • 患者理解の基礎となる生涯発達の視点について理解する。 • エリクソンの心理・社会的発達段階に基づいて、人間関係形成の基礎となる乳幼児期の発達課題を理解する。 • エリクソンの心理・社会的発達段階に基づいて、児童期から青年期までの発達課題を理解し、自己の自我形成の過程を振り返る。
第6回 10月16日 2) 鎌田 哲司	II. 発達 4) 心理社会的発達②	<ul style="list-style-type: none"> • エリクソンの心理・社会的発達段階に基づいて、職業観の形成にかかわる青年期から成人期の発達を理解する。 • 高齢者に対する理解を深めるために、老年期の発達課題を理解する。
第7回 10月23日 1) 鎌田 哲司	III. 学習 1) 非連合学習 2) 連合学習①	<ul style="list-style-type: none"> • 学習の定義について理解する。 • 実体験によって形成される過程であるレスポナント条件づけとオペラント条件づけによる学習について理解する。
第8回 10月23日 2) 鎌田 哲司	III. 学習 2) 連合理論② 3) 観察学習と般化模倣 4) ルール支配行動	<ul style="list-style-type: none"> • 他者の行動を観察することで変化する過程である学習について理解する。 • 言語的な教示により変化する過程である学習について理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第9回 10月30日 1) 鎌田 哲司	IV. 知能 1) 知能の定義 2) 知能の諸理論	<ul style="list-style-type: none"> • 知能とは何か。また、知能はどのように測定されるのか理解する。 • 知能はどのような構造をしているかを理解し知的個性の質的な差について考えていく。
第10回 10月30日 2) 鎌田 哲司	IV. 知能 3) 知能の測定方法	<ul style="list-style-type: none"> • 知能検査（主に、ビネー式知能検査とウェクスラー式知能検査）について学ぶ。
第11回 11月6日 1) 鎌田 哲司	V. パーソナリティ 1) 性格の捉え方 2) 類型論①	<ul style="list-style-type: none"> • パーソナリティを理解する視点について理解する。 • 性格の類型理論の立場を理解する。 • クレッチマーの類型論について理解する。
第12回 11月6日 2) 鎌田 哲司	V. パーソナリティ 2) 類型論② 3) 特性論	<ul style="list-style-type: none"> • ガレヌス、ユング、シュプラングー等の類型論を学ぶとともに、類型論的人間理解の問題点を理解する。 • 性格の特性論的アプローチについて理解する。
第13回 11月13日 1) 鎌田 哲司	V. パーソナリティ 3) 特性論 4) 状況論	<ul style="list-style-type: none"> • キャテルの特性論，5因子論，ミシエルの状況論について学ぶ。 • 物語（ナラティブ）として理解していく視点の理論的根拠の一つである状況論について理解する。
第14回 11月13日 2) 鎌田 哲司	V. パーソナリティ 5) 構造論 6) 役割と性格 7) 個人差	<ul style="list-style-type: none"> • フロイトの理論にもとづき、パーソナリティの構造論について学ぶ。 • パーソナリティ形成と社会的環境との関係について理解する。 • IVとVを振り返ることを通して、患者を尊重する医療を展開していくために、個人差に対する理解の重要性に気付く。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第15回 11月20日 1) 鎌田 哲司	VI. 欲求と適応 1) 欲求の種類 2) 欲求体系 3) フラストレーション (欲求不満)	<ul style="list-style-type: none"> 一次的欲求と二次的欲求について学ぶ。 欲求階層理論について学ぶ。 患者は疾病に伴いさまざまなフラストレーションを体験する。欲求不満事態とそれに対する反応について理解する。
第16回 11月20日 2) 鎌田 哲司	VI. 欲求と適応 4) 葛藤事態 5) 防衛機制	<ul style="list-style-type: none"> 患者は治療過程においてさ迷いや悩みを体験する。ここでは葛藤事態の基礎理論について理解する。 心理的緊張状態と適応における防衛機制 (適応機制) の意味について理解する。 防衛機制の種類について理解する。
第17回 11月27日 1) 鎌田 哲司	VII. 動機づけ 1) 動機づけ (モチベーション)	<ul style="list-style-type: none"> 動機づけの要素, 行動の原動力維持要因となる動機づけのプロセスについて学び, 動機づけについて理解する。
第18回 11月27日 2) 鎌田 哲司	VII. 動機づけ 2) 動機づけ理論の発展	<ul style="list-style-type: none"> 社会的動機づけがどのようなものであるか, 達成動機づけと内発的動機づけの観点から学ぶ。
第19回 12月4日 1) 鎌田 哲司	VIII. 感情と情動 1) 感情・情動・気分 2) 情動生起	<ul style="list-style-type: none"> 感情, 情動, 気分という専門用語が心理学においてどのように使い分けられているか学ぶ。 情動生起についての考えられ方について理解する。
第20回 12月4日 2) 鎌田 哲司	VIII. 感情と情動 3) 基本的表情 4) 情動調節	<ul style="list-style-type: none"> 基本表情とその普遍性について学ぶ。 対人コミュニケーションを良好に保つ機能を持つ情動調節について理解する。
第21回 12月11日 1) 鎌田 哲司	IX. 健康 1) ストレスと健康	<ul style="list-style-type: none"> ストレスとストレス反応について理解する。 ストレスの医学的・心理学的モデルについて理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第22回 12月11日 2) 鎌田 哲司	IX. 健康 2) パーソナリティと健康 3) ストレスコーピング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病と健康阻害要因となりうるパーソナリティとの関連について学ぶ。 ・ ストレスフルな社会で活躍していくためにもストレスコーピングについて理解し、適当に用いることができるようにする。
第23回 12月18日 1) 鎌田 哲司	X. 人間関係の心理 1) 対人認知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者との良好な人間関係を形成していくために求められる社会心理学的視点について理解する。 ・ 他者に対する好き嫌い(対人好悪)はどのように形成されるのか。その規定因について学ぶ。
第24回 12月18日 2) 鎌田 哲司	X. 人間関係の心理 2) 社会的態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的態度の形成と変容に関わる諸要因について、理論と実験例とを対比しながら関連付けて理解する。
第25回 1月8日 1) 鎌田 哲司	XI. 人間関係の形成 1) 友人との人間関係 2) 人間関係のルールとスキル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友人関係を取り上げ、その意味について考える。 ・ 人間関係のルールとスキルについて理解を深める。
第26回 1月8日 2) 鎌田 哲司	XI. 人間関係の形成 3) 自己開示とアサーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間関係形成の基本的スキルである自己開示の理解を深め、社会的距離について学ぶ。 ・ 人間関係形成の基本的スキルであるアサーションについて学び、具体的なメッセージの作成を行うことができるよう習熟する。
第27回 1月15日 1) 鎌田 哲司	XII. 家族における人間関係 1) 親子関係の形成 2) 児童虐待	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対人関係の始まりとしての親子関係の在り方とその発達について理解する。 ・ 虐待はなぜ生じるのであろうか。その心理的、社会的背景について理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第28回 1月15日 2) 鎌田 哲司	XIII. 職場の人間関係 1) 集団と組織 2) リーダーシップ 3) 同僚との人間関係	<ul style="list-style-type: none"> • 組織としての職場における人間関係について考える。 • リーダーシップについて理解する。
第29回 1月22日 1) 鎌田 哲司	XIII. 職場の人間関係 3) 同僚との人間関係 4) チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> • メンバーシップを支える同僚との人間関係について理解する。 • チームワークについて理解する。
第30回 1月22日 2) 鎌田 哲司	XIV. 患者との人間関係 1) 病者の心理的特徴 2) 患者関係の理解	<ul style="list-style-type: none"> • 病気になるとはどのようなことか理解し、病者の心理的特徴について学ぶ。 • 社会的役割としての患者の在り方について理解を深める。 • 患者と医療従事者との人間関係の在り方について理解する。